

国際ロータリー第 2610 地区

2020-21年度 地区財務予算編成方針

2020-21年度
地区財務委員長 海下 巧

1. 地区財務の予算作成に際して公益法人会計基準に基づき複式簿記の原則を適用して勘定科目を見直し、解りやすくすると共に、迅速な予算作成が出来るように工夫しました。
2. 会計体系については、予算作成時には正確な数値が見込めず、予算作成が概算になる国際青少年交換委員会予算を特別会計とします。

一般会計

規定審議会議員派遣費特別会計

国際青少年交換委員会特別会計

米山記念奨学会委員会特別会計

地区特別基金特別会計（名称変更の予定）

ロータリー財団地区補助金特別会計

ロータリー財団グローバル補助金特別会計

の7会計を財務委員会の管轄とし、その他に

地区大会会計

ガバナー事務所会計

ガバナーエレクト事務所会計

ガバナー及びガバナーエレクト事務所固定化推進のための特別会計

の4会計を置くものとししました。規定審議会議員派遣費特別会計に関しては、2019～20年度より一人100円の人頭分担金を予算化していますが、2018～19年度の派遣費が、約800,000円かかっています。

2019～20年度と2020～21年度の積立金は、約532,000円で差額を一般会計より補助する必要があります。

地区特別基金特別会計に関しましても、現在は災害等の発生時に使われていますが、今後は派遣先での災害時にも使えるように改めたいと考えています。

3. 各委員会予算に関しては、過去の実績や事業効果などを検証し、ガバナーエレクトの指導方針のもと、各委員長からの予算要求に基づき予算案を作成しました。
4. 一般会計の個別の科目としては、地区会計事務費を地区財務・監査委員会費の小科目として設定し、ガバナー事務所会計の内に含まれる人件費の一部を一般会計にて負担します。
5. ガバナー月信会計に関しては、前年度の提案を継続いたします。
6. その結果、地区人頭分担金については別表（地区人頭分担金一覧表）をご参照ください。
7. 交通費に関しましては、交通費支給基準が現状とかけ離れており、今年度からは支給いたしません。

メンバーシップカードに関しては、委員会開催時の資料と共に印刷したものといたします。